



一目千本桜の歴史

大河原町商工観光課

大河原町を流れる白石川沿いの桜並木、

白石川堤一目千本桜

上流の金ヶ瀬地区から隣の柴田町船岡地区まで、
約8キロメートルもの桜のトンネルが続きます。

●「白石川堤一目千本桜」の由来

昭和28年(1953)に尾形町振興協賛会の会合で、半沢軍太郎氏が命名したといわれています。ひとめ見て、たくさんの桜があるという例えです。

日本を代表する桜の名所「吉野山(奈良県吉野町)」が、平安の時代から「一目千本」と呼ばれていたことにちなんで、名付けられたそうです。全国各地に一目千本(桜)という花見の名所があるため、白石川堤一目千本桜と呼ばれています。

桜のトンネル

この桜並木は、大河原町出身の実業家 高山開治郎が大正12年(1923)に約700本、昭和2年(1927)に約500本、合計約1,200本の桜の苗木を町へ寄付・植樹し、誕生したものです。

開治郎は明治9年(1876)4月、大河原の名旅館「高山屋」の長男として生まれましたが、15歳のとき父親が死亡し旅館が廃業したので、家族を養うため上京し一生懸命に働きました。

苦難の末、東京商機新聞、東京美術館、日本林業という会社を設立し成功した開治郎は、近所にある桜の名所「飛鳥山公園(東京都北区)」をふるさとに再現しようと、堤防工事が完成した白石川堤に、「ソメイヨシノ」という品種の苗木を、植え込みました。

右の文は、桜の苗木を寄付したことを記念して、大河原大橋下に建てられた「桜樹碑」に刻まれた碑文の一部です。

愛郷奉仕ノ念止ミ難ク
桜樹一千余本時価四千円ヲ
本町二寄付栽植ス



「桜樹碑」

「ソメイヨシノ」とは？



ソメイヨシノの可憐な花

サクラは、バラ科サクラ属の植物です。「ソメイヨシノ(染井吉野)」は、江戸時代の末期に染井村(現在の東京都豊島区)の植木職人が「吉野桜」という名で売り出したのが始まりです。

オオシマザクラとエドヒガンの雑種といわれており、葉の出る前に大きく鮮やかな花が、枝を覆いつくすほどたくさん咲き、木の生長と開花は比較的早く育てやすいために、全国各地に広がりました。

「一目千本桜」、その他の品種



シロヤマザクラの白い花

「一目千本桜」のほとんどがソメイヨシノですが、後から補植されたものに、「シロヤマザクラ」や「ヤエザクラ」があります。どちらもソメイヨシノの1～2週間後に花を咲かせます。ソメイヨシノと違い、花と葉が同時に出ます。



ヤエザクラは濃いピンク色

最近では、明治33年(1900)に地元仙台で作られた幻の品種「センダイヨシノ」や「シダレザクラ」、「ヒカンザクラ」、「エドヒガン」等さまざまな種類の桜が植えられています。

いにしえの「一目千本桜」①



植樹後間もない桜。後ろの山は菫神山(昭和6年)

いにしえの「一目千本桜」②



蔵王は昔も今も変わりありません。(昭和30年代)

いにしえの「一目千本桜」③



昭和36年に姿を消した、汽車ポツポ

いにしえの「一目千本桜」④



進駐軍も花見に来ていました。(昭和22年)

いにしえの「一目千本桜」⑤



花見で陽気に踊るご婦人と、あ然と見ている子供たち(昭和30年)

いにしえの「一目千本桜」⑥



白石高等女学校(白石女子高校の前身)の乙女たち(昭和10年頃)

いにしえの「一目千本桜」⑦



長い歴史を誇る、柴農生によるテングス病枝せん定作業(昭和30年代)

いにしえの「一目千本桜」⑧



末広橋の前身、仮橋にて。中町・本町にも桜並木が(昭和19年頃)

いにしえの「一目千本桜」⑨



旧役場前の桜並木。土手でひと休み（昭和37年）
※昭和38年に上町～本町間の桜並木は伐採されました。

いにしえの「一目千本桜」⑩



金ヶ瀬と上大谷を結んだ渡し船(昭和40年頃)

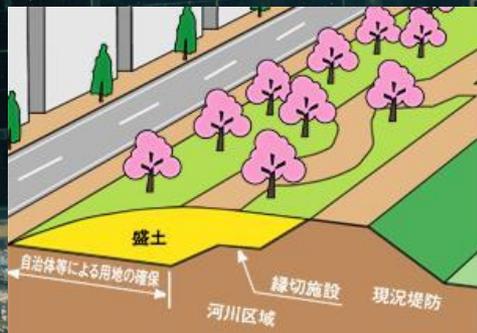
「一目千本桜」、実際何本あるの？ (大河原町さくらの会調査)

金ヶ瀬地区

開治郎の桜 58本
補植桜・若木 147本

丑越・上川原地区

若木 222本
※国の「桜つつみモデル事業」で平成5年植樹



裁判所前

開治郎の桜 2本
※大河原で一番早く開花

上谷・上大谷地区

若木 130本
※町の植栽事業で平成27年植樹

新田町・桜町地区

開治郎の桜 74本
補植桜・若木 88本

末広橋～葦神堰間

開治郎の桜 49本
補植桜・若木 48本

高倉県道沿い

開治郎の桜 17本
補植桜・若木 5本

大河原大橋～尾形橋間

開治郎の桜 18本
補植桜・若木 24本

尾形橋～末広橋間

開治郎の桜 16本
補植桜・若木 19本

葦神堰下流

開治郎の桜 131本
補植桜・若木 144本

開治郎の桜 365本

※金ヶ瀬地区の桜は、昭和3年金ヶ瀬青年団が植樹したと言われています。

補植桜・若木 827本

合計 1,192本！！

「一目千本桜」を守り、育てる。



宮城県柴田農林高等学校
大河原ライオンズクラブ
大河原町さくらの会

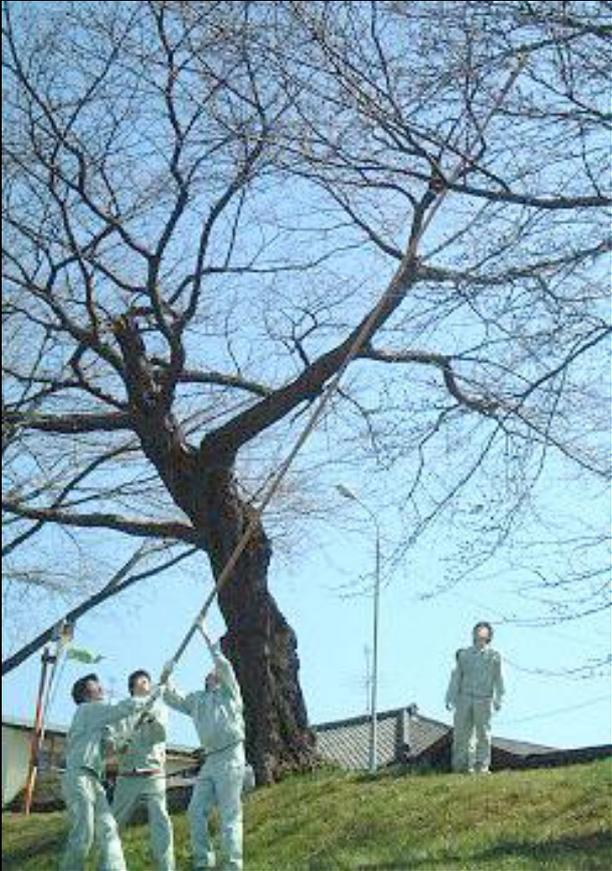
柴農生によるテングス病枝せん定①



テングス病にかかった枝

テングス病は、桜の大敵です。病原菌が進入すると、一ヶ所から小さな枝がホウキ状にたくさん出ます。この枝は花が咲かなくなり、そのままにしておくと、木全体がテングス病にかかり、最後には枯れてしまいます。見つけたら、すぐに切り落とさなければなりません。

柴農生によるテングス病枝せん定②



竹の先に鎌を取り付けて、
枝を切り落とします。

桜が咲く直前の毎年3月下旬に、柴田農林高校の1・2年生が、せん定する班とごみを拾い集める班に分かれて作業を行います。

柴田農林高校による桜の保護活動は歴史が古く、昭和2年(1927)の「一目千本桜」植樹を植木職人とともにやり、テングス病枝のせん定作業も、その頃から始められていたそうです。

長年の保護活動が認められ、昭和45年(1970)には、「日本さくらの会」から表彰を受けました。

幻の桜、「センダイヨシノ」の復活



柴田農林高校自然科学部バイオ研究班では、絶滅寸前の桜の品種「センダイヨシノ(仙台吉野)」の復活を目指し長年研究を続け、バイオ技術による増殖に成功しました。

柴農敷地内に咲いたセンダイヨシノ



センダイヨシノはヤエベニシダレを母に、そしてソメイヨシノを父に持ち、ソメイヨシノより開花が10日ほど遅く、葉の香りが他の桜よりよいのが特長です。

研究・活動の成果が認められ、平成15年(2003)に日本さくらの会の「さくら功労者表彰」を受けました。

ライオンズクラブによる桜の補植



今までに500本以上の桜を植樹

「一目千本桜」は老木が多く、毎年枯れたり倒れたりする木があるため、大河原ライオンズクラブでは、昭和54年(1979)の発足以来、毎年桜の補植や小中学校・公園への植樹を行っています。

また、桜まつりの前には、きれいな町で観光客を迎えようと、大河原駅前の清掃奉仕活動を行っています。

大河原町さくらの会

大河原町さくらの会は、大河原町を全国に冠たる桜の名所にすることを目的に、平成9年(1997)に設立されました。

桜の調査・研究、記念植樹、ビデオ等によるPR活動等を行っており、平成12年(2000)4月には、開治郎の長男 高山豊太郎氏を大河原町に招待しました。

最近では、柴田農林高校と共同で「センダイヨシノ」の普及に取り組んでいます。



柴農生と共に「センダイヨシノ」の植樹

住民総参加による白石川清掃活動



きれいな町で、お待ちしております！

「観桜に訪れる多くの皆様にきれいな桜並木を気持ちよく歩いてもらおう」と、平成18年(2006)より白石川流域の大河原・柴田両町の住民や学校、企業、ボランティア団体、そして宮城県や両町の行政機関が協働で、白石川の土手等の清掃活動を行なっています。

きれいになった桜の名所で、県内外から訪れるたくさんのお客様を気持ちよくお迎えしています。

「一目千本桜」に魅せられて



おおがわら桜まつり

桜の開花状況について



開花



満開



散り始め

過去5年間の開花状況調べ

	開 花	満 開	散り始め
平成30年(2018)	3/31	4/5	4/9
平成31年(2019)	4/4	4/9	4/15
令和02年(2020)	3/30	4/5	4/12
令和03年(2021)	3/28	4/1	4/5
令和04年(2022)	4/7	4/11	4/14
過去32年間の平均	4/8	4/14	4/18
過去10年間の平均	4/4	4/9	4/13
過去5年間の平均	4/2	4/7	4/11

桜は、翌年に咲く花の基となる花芽(かが)を夏ごろに形成し、活動を休止します。そして冬の寒さが厳しくなると活動を再開(休眠打破)し、気温の上昇とともに成長します。

休眠打破後の2月以降の気温が、桜の成長に影響を及ぼします。休眠打破が不十分だと開花が遅れたり、開花時期が不揃いになるそうです。

開花・・・一本の木から花が5～6輪咲いた状態

満開・・・花が咲きそろった時の80%以上が咲いた状態

おおがわら桜まつり ①



夜桜ライトアップ

桜の開花に合わせて、おおがわら桜まつりが開催されます。一斉に咲き誇る桜の姿は壮観であり、ライトアップされた夜桜は川面に映り、幻想的な美しさです。

平成13年(2001)には、尾形橋～葦神堰間を往復約20分で運航する屋形船が登場しました。この屋形船は、丸森町の阿武隈ライン舟下りで使用しているものを、大型トラックで運んできたものです。

船を運航するには70cm以上の水深が必要なため、運航期間中は葦神堰の水門を閉めてもらっています。



平成13年登場の屋形船

おおがわら桜まつり ②

みさぶおおがわら
一千本桜

平成31年 おおがわら **桜まつり**
4月3日[水]~18日[木]
会場 白石川公園

（桜の開花状況により、開催期間を変更する場合があります）
 ※花見期間に限りお花見の場として、公共の交通機関をご利用ください。ご利用の際はご注意ください。

お問い合わせ先
 http://www.ogawara-miyagi-fest.org/ TEL (0224)53-1260
 http://www.ogawara.com/ TEL (0224)53-2141
 http://www.zon.ogawara-miyagi.jp/ TEL (0224)53-2659
 おおがわら桜まつり会場本部（会場）TEL (0224)52-6688

MIYAGI OGAWARA Cherry Blossom Festival

最近では、東京や関西方面、なんと海外からも！

JRや大型バスを使って訪れるかたが増えました。

JRでは、桜の開花に合わせて大河原～船岡間の普通電車を時速約45kmで徐行運転しています。

まつり期間中（約2週間）は、およそ25万人もの観光客で賑わいます。この数字は、県内のイベントでは、光のページェント、仙台七夕、青葉まつり、ストリートジャズフェスティバル、みちのくYOSAKOIまつり、石巻川開きに続き、第7位となっています。

平成31年の桜まつりポスター

※令和2年・令和3年・令和4年はコロナ禍のため中止

郷土の誇り、「一目千本桜」

宮城県、東北地方を代表する大河原町の白石川堤「一目

千本桜」は、数々の名所百選の地に選ばれています。

昭和62年(1987) 「宮城県新観光名所百選(河北新報社)」

平成 2年(1990) 「さくら名所百選(日本さくらの会)」

平成 6年(1994) 「新日本街路樹百景(読売新聞社)」

平成14年(2002) 「遊歩百選(読売新聞社)」



「一目千本桜」
記念碑

一目千本桜は、大河原町のシンボルです。

この桜並木を生んだ高山開治郎や、長年にわ

たり桜の保護・育成に取り組んでいる人びとに

感謝しながら、私たちも後世の人たちが楽しく

春を迎えるためにも、このシンボルを守ってい

きたいと思います。